

## 区市町村における介護人材対策の取組（調布市）

### 介護人材状況調査における調布市の特徴

<サービス類型> 訪問 22.4%、入所系 32.7%、通所系 30.6%、居宅介護支援 14.3%

<採用活動の状況：非常に順調+まずまず順調>

- ・（介護職員）正規・新卒：58.8%（都平均：15.0%） 正規・中途：48.3%（都平均：20.5%）
- ・（訪問介護員）正規・新卒：33.3%（都平均：7.2%） 正規・中途：16.7%（都平均：13.4%）

<職員の定着状況：十分に高い+ある程度高い>

- ・（介護職員+訪問介護員）正規職員・新卒：94.1%（都平均：73.9%）
- ・（介護職員+訪問介護員）正規職員・中途：90.0%（都平均：79.0%）

### 調布市における主な取組

#### I 介護保険等推進活動補助事業（平成 11 年度～）

##### ① 介護保険サービス事業者調布連絡協議会への補助

- ・市内介護保険サービス事業者及び介護支援事業者等の団体
- ・質の高いサービス提供に向けた会員相互の情報提供や、年 5 回開催する研修推進委員会を中心に研修内容等を検討し、現場の声を当該年度の研修に反映

例：身体介護技術研修、認知症研修、法令理解研修、人材定着のためのマネジメント研修

【平成 30 年度研修実績】10 回開催、289 人参加

##### ② 介護支援専門員調布連絡協議会への補助

- ・市内で活動を行う指定居宅介護支援事業者の従業者等の団体
- ・事例検討や職務遂行に必要な情報交換、年 3 回程度の研修を開催。研修内容等は、年 11 回開催する役員会で検討

例：スーパービジョン・バイジーとなるための準備講座、地域に根差した入退院連携

【平成 30 年度研修実績】5 回開催、277 人参加

#### II 認知症高齢者グループホーム研修会（平成 23 年度～）

- ・市内認知症高齢者グループホームの職員を対象に、認知症グループホーム連絡会等での意見を踏まえ研修会を開催し、各事業所における人材育成・スキルアップを支援

例：グループホームが実践する認知症ケア、認知症グループホームにおける看取り

【令和元年度実績】2 回開催、36 人参加 ※平成 30 年度は実績なし

### 都における考察

調布市では、介護職員等が市内事業所を「働きやすい職場」と実感できることが人材定着につながると考え、市が開催する会議や高齢者福祉推進協議会への参加をはじめ、日頃から事業者との関係構築に努め、課題や要望の把握に努めています。今年度は、市から介護保険サービス事業者調布連絡協議会に要望し、介護事業者への周知を徹底し対策を促すべく「介護現場におけるハラスメント対策マニュアルに関する研修」を開催しています。

また、上記の取組以外にも、調布市社会福祉協議会（監理団体）が運営する福祉人材育成センターにおいて、初任者研修や高齢者家事援助ヘルパー養成研修を実施しています。

このような介護事業者・社会福祉協議会との連携、行政と介護現場の双方向の意向を反映した多様な研修の実施などが、調布市における介護職員の定着率の高さ等に寄与しているものと思われます。